

地域貢献する大学³

大学では、地域のニーズや課題に応えるべく地域と連携し課題解決にむけて、教育・研究を行い、地域社会の持続可能な発展に寄与している。日本私立大学協会の加盟大学に呼びかけ集まった活動を紹介する。

キャンパス万華鏡

新入生歓迎は「まち歩き」?!

広島文教大学(広島県)

広島文教大学の新入生が、キャンパス周辺の安佐北区可部エリアを散策した。学生生活に早くなじめるよう、先輩学生たちが行政や地域の方々と連携し、地域の魅力を調べてコースを設定。飲食店や寺社、酒蔵などを約2時間かけて巡り、クイズに挑戦したり、地域の方と交流したりする機会となった。学生たちは街の魅力を肌で感じながら、新生活への期待を膨らませていた。

大阪保健医療大学(大阪府)



「できない」を「できた」に変える活動をサポート

大阪保健医療大学ではリハビリテーション専門職として地域社会に目を向け、対象者の日常生活を柔軟に考えることが出来るよう、様々なボランティア活動に取り組んでいる。夏季に須磨海浜公園で行われている「ユニバーサルビーチ」を作る活動では、障害などを理由に諦めてしまった海水浴にチャレンジする対象者を家族や現場スタッフと連携し、道具を工夫することで支援する。この活動を通じ、学生は将来必要な知識や技術を身に付け、セラピストとしての役割に関する視野を広げる。

生命の大切さを 地元の小学生に教える ヤマザキ動物看護大学(東京都)



ヤマザキ動物看護大学では、昨年8月6日、第15回子ども体験塾を実施した。同イベントは「地域の子どもたちに生命の大切さを学ぶ機会を提供したい」という思いのもと、八王子市内の小学生を対象として、大学開学以来毎年8月に開催している。当日は、小学5・6年生と保護者の合計89人が参加し、イヌと一緒に暮らす上で欠かすことのできない健康チェックや手入れ方法について学んだ。

地域活性化に ユニークプラン



鹿児島国際大学(鹿児島県)

鹿児島国際大学では、学生と教員が地域の現場に入り、住民らとともに地域の課題解決や地域づくりに取り組んでいる。「ふるさと水土里(みどり)の探検隊」もその1つで、鹿児島県等と連携して毎年実施しており、2024年度は鹿児島市喜入中名地区が対象。経営学科生28人が6チームに分かれて地域の現状や課題、魅力を調査した結果をもとに、月桃葉を使った特産品の開発、地域の小学生と作る投票式ゴミ箱や空き地を利用したコワーキングスペース併設の個室サウナの設置などユニークなプランを発表した。

キャッサバ芋×SDGs×耕作放棄地



浜松学院大学(静岡県)

日本では「タピオカ」の原料であるキャッサバ芋のことはあまり知られていない。キャッサバ芋は南米、アフリカ、アジアの貧困地では食料安全保障に欠かせない作物。浜松学院大学では、学生たちが浜松市内のブラジル人生産者の指導の受けながら耕作放棄地や地元協働センターの敷地内でキャッサバ芋の栽培、収穫を行った。学祭でのキャッサバチップス販売や、キャッサバ芋の栽培を通じて耕作放棄地活用に関する研究展示を行い、日本での認知度を高め、SDGsにも貢献する活動をしている。

インバウンドで賑わう札幌の冬を 韓国語でおもてなし 北海道武蔵女子大学(北海道)



北海道武蔵女子大学・短期大学の学生が2月、札幌で開催された「スマイルリンクさっぽろ」の辛ラーメンイベントに特別スタッフとして参加した。学生たちは雪景色の広がる札幌で、観光客や地元の人々に「冬の思い出」を届けるため、笑顔で活動。来場者へ温かいおもてなしを提供し、辛ラーメンのPRに尽力した。また、外国人観光客に対しては、英語や韓国語など語学を駆使して案内を行い、コミュニケーション能力や実践的な語学力を磨いた。

地域と学生が育む、 13年目の子育て支援



兵庫大学(兵庫県)

兵庫大学では、加古川地域在住の未就園親子を対象とした子育て支援の場「こども大学」を運営し、今年で活動13年目を迎える。近年は父親の参加も徐々に増え、「こども大学」が地域のサードプレイスとして機能していることがわかる。大学内での活動ということから、保育や教育を学ぶ学生との関わりに期待を持つ声も多く、遊びの提供やエピソード記録「ちいさなあしあと」の作成を行うなど、学生の力が活かされているとともに学生自身の学びにも繋がっている。

検診の大切さを 伝え街あるき



日本医療科学大学(埼玉県)

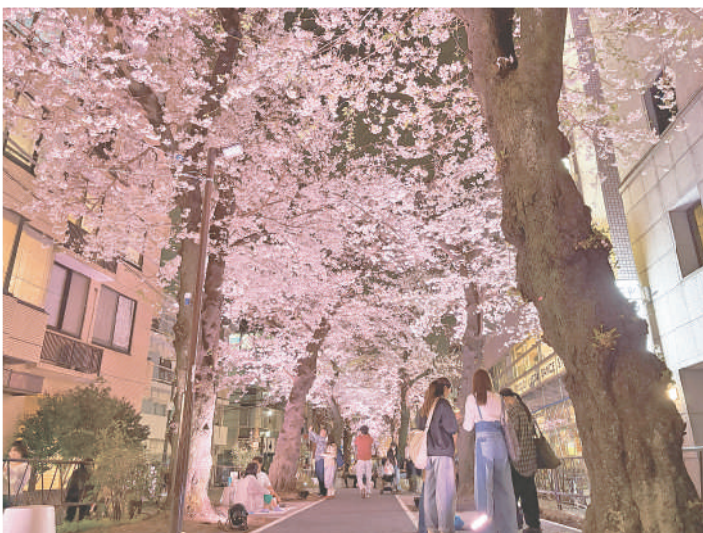
日本医療科学大学では、「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2025川越」に学生・教職員が参加した。【リレー・フォー・ライフ】とはがん患者やその家族を支援し、地域社会全体でがん向き合い、がん征圧を目指すチャリティ活動。当日は、歴史と趣のある川越の街を歩くとともに、乳房の中にしこりが再現された乳房モデルで乳がんの自己触診を体験してもらうなど、がんの予防や検診の大切さを呼びかけた。

キッズスマイルフェスタで 広がる地域の輪



大阪経済大学(大阪府)

大阪経済大学では、大阪市東淀川区役所や地元企業・団体と連携し、小学生以下の子どもたちとその家族を対象に、防災・福祉・教育の大切さを伝える体験型イベント「だいいかいだいいキッズスマイルフェスタ」を開催した。巨大災害のリスクが高まる中、都市型大学として地域の防災意識向上に努めてきた実績を踏まえ、今回は教職員・学生・地域団体とともに42の体験企画を実施。子どもたちの笑顔と学びがあふれる一日を通じて、地域に根ざした大学の役割を実感する機会となった。



東京都市大学(東京都)

地域の未来 環境心理が照らす

東急東横線「都立大駅」前の呑川緑道で地元商店街が主催する「桜並木ライトアップ」は、東京都市大学建築都市デザイン学部・小林茂雄教授の研究室が2018年からデザインを手掛けている。環境心理に基づく光環境・色彩計画に関する研究を活かし、繊細な色の濃淡や明暗を付けた投光、波紋を表現した投影で、美しい川の揺らぎを表現。半世紀前、まちの発展と共に暗渠化した呑川と、当時の小学生が植えた桜が地域のシンボルとして愛され続けるよう、学生のアイデアが美しく照らす。照明学会の「2024年照明施設賞 東京支部審査委員特別賞」を受賞。

楽しい農業がつむぐ 地域の輪



東北福祉大学(宮城県)

東北福祉大学の共生まちづくり学部森明人ゼミが取り組む「共生地域づくりプロジェクト」は、「楽しい農業」「楽しい地域づくり」をテーマに、中山間地域の関係人口の創出を目指して、大学生と農業、地域づくり、多世代が交流するためのプラットフォームづくりと運営を行っている。また、YouTubeの動画やinstagramで情報発信し、多くの方に大学生が農業に取り組む様子を発信することにも力を入れている。

特集企画「キャンパス万華鏡～写真が語る大学の横顔～」は、平成21(2009)年から続く企画。

2021年～2025年9月までの「キャンパス万華鏡」は日本私立大学協会HPでも掲載している。



年数回、加盟大学へ募集のご案内をしています。ぜひ、貴学のお取り組みもお待ちしております。